

現代社会論Ⅰ

科目ナンパリング SOC-103

必修 2単位

大川 清丈

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は社会学の学習への入門である。

われわれはしばしば「頑張る」ということば(「頑張ります」「頑張ろう」「頑張って」「頑張れ」など)をつかう。そこで、「頑張る」=忍耐して努力することを切り口にして社会(特に日本社会)を分析していく。このようにことばの分析から社会のあり方へアプローチする。

2. 授業の到達目標

- ①社会学的なものの見方・考え方を修得する。
- ②現代社会、特に現代日本社会のあり方・問題点への関心を深めることができる。
- ③新聞記事やニュースに接する時に、自分なりの見方ができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のリアクション・ペーパー(30%)、小テスト(20%)、期末試験(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

大川清丈 『がんばること／がんばらないことの社会学——努力主義のゆくえ』2016 ハーベスト社

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を自主学習すること。

MELICで図書を検索し借りること。

6. その他履修上の注意事項

現代社会論Ⅱと併せて履修すること。

現代社会への多角的な見方を学んでほしい。

授業中に配布したプリントはファイルしておくこと。

7. 授業内容

【第1回】	イントロダクション
【第2回】	社会とは何か・社会学とは何かについて学ぶ
【第3回】	現代とはいつかについて学ぶ
【第4回】	翻訳語としての「社会」について学ぶ
【第5回】	社会と世間について学ぶ
【第6回】	「頑張り」=努力主義と日本社会(1)序論
【第7回】	「頑張り」=努力主義と日本社会(2)能力平等観について学ぶ
【第8回】	まとめと小テスト
【第9回】	「頑張り」=努力主義と日本社会(3)同調的個人主義について学ぶ
【第10回】	「頑張り」=努力主義と日本社会(4)「頑張り」=努力主義の現在について学ぶ
【第11回】	「頑張り」=努力主義と日本社会(5)「頑張り」=努力主義の事例について学ぶ
【第12回】	戦後日本の「頑張り」=努力主義(1)「頑張る」の語義史について学ぶ
【第13回】	戦後日本の「頑張り」=努力主義(2)努力の社会学について学ぶ
【第14回】	戦後日本の「頑張り」=努力主義(3)戦後の変容について学ぶ
【第15回】	まとめと試験